

“ 人類の苦しみの流れは、ますます大きくなってきています。このことは、特に難民の人たちについて言えます。そこには、特別の苦しみがあります。彼らには、家と呼ぶものがどこにもないのです。そして、しばしば、助けを求める叫びに、耳をかす用意のある人すら、ひとりもないのです。 ”

マザー テレサ



“ Refugees Welcome 難民を歓迎できる社会に! ”

難民の友に、難民と共に!

アルペなんみんセンターについて

迫害から逃れてきた難民に「シェルター」「学ぶ機会」「交流の場」を提供しています。地域社会と連携し、難民の人々をあたたく日本社会に迎え、来日した難民に対して、情報提供、手続支援、定住支援などを行なっています。

難民が自立して日本社会で生活し、地域社会とつながり、寛容性と多様性にあふれた多文化共生社会づくりを目指しています。

Care / ささえる 難民の定住サポート

シェルターの提供 / 自立に向けた学ぶ場の提供 / 難民申請手続支援

Connect / つながる 難民が地域とつながる

難民の地域活動への参加 / 難民と出会う場づくり

Change / 変える 難民問題の啓発活動

難民セミナー / 政策提言、アドボカシー活動

“ 今日泊まる場所がない！
不安でいっぱいになりながらアルペに電話した。アルペは、知らない外国人の自分をすぐに泊めてくれた。お金もなく、着る服さえなかった自分が普通の暮らしを送れるのは地域の皆様をはじめ支援してくださる方々のおかげ。感謝の気持ちでいっぱいです。私と同じような状況の難民たちのために、これからも支援をお願いいたします。 ”

Mさん(ミャンマー出身)



シェルター施設のご紹介

カトリック教会の修道会・イエズス会日本殉教者修道院を活動の拠点としています。鎌倉の自然豊かな高台にあり、8,400坪(東京ドームの60%)の広大な敷地で、30室が難民のために用いられています。



団体名称の由来

団体名称は、イエズス会第28代総長ベドロ・アルペ神父(1907-1991)の名から来ています。

アルペ神父は、1938年宣教師として来日。1945年に広島で原爆を体験し、被爆者の救護に尽くされました。日本殉教者修道院は、アルペ神父が初代イエズス会日本管区長の時に建てられました。

インドシナ難民の惨状に対応するため、アルペ神父によって設立されたイエズス会難民サービス(JRS)は、現在、世界57カ国で難民支援活動を行なっています。



NPO法人アルペなんみんセンター

〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所80

イエズス会 日本殉教者修道院

Tel.0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp

https://arrupe-refugee.jp



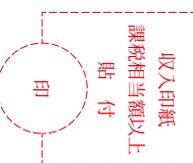
NPO法人
アルペなんみんセンター

日本に迫害から逃れてきた難民に「シェルター」「学ぶ機会」「交流の場」を提供しています。

第27回
神奈川県
弁護士会
人権賞
受賞しました



(ご注意)
•この用紙は、機械で処理しますので、口座記号番号および金額を記入の際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください。
•この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
•この用紙をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに領収証を必ずお受け取りください。
•払込みの際、法令等に基づき、ご依頼人様(および代理人様)の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
•この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとことろ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。
•この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。なお、備考欄に「口座払いの印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。」



郵便局・ゆうちょ銀行専用

この払込取扱票を使って簡単に「寄付」することができます。

ゆうちょ銀行窓口または、郵便局の払込機能付きATMでご利用いただけます。

この場所には、何も記載しないでください。

困窮する

来日した難民たち

日本で
難民として
認められるのは
1%以下。

希望をもって

ようやくたどり着いた日本で
ホームレス状態になってしまう…
とても厳しい現実があります。

「難民申請したら、入管施設に5年間収容された。」
「所持金がなくなり、路上で1年間生活した。」
「難民と認められず、20年がたってしまった。」
「入管職員から『早く帰れ』といつも言われる。」

難民とは？

- ・世界の難民は1億人を超え、毎年増加しています。
- ・難民とは、人種、宗教、国籍、政治的な考えなどを理由に、自国にいと迫害されるおそれがあるため、外国などに逃れた人々です。難民条約で保護するように定められています。
- ・日本も1981年に難民条約に加入しています。

日本の難民受入数は、世界的に見て
きわめて、低い水準です。

あなたの助けが、 彼らの命と希望を 支えます。



アルペなんみんセンターは、迫害から逃れ来日した難民の支援センターです。みなさまのご寄付によって支えられています。

例えば、みなさまのご寄付で
こんな支援をすることができます。



3,000円あれば、
難民ひとりの**1日の命を支える**
ことができます。シェルターでの
食費、水道光熱費などに活用され
ます。



5,000円あれば、
難民ひとりの**1ヶ月の日本語
学習を支える**ことができます。
日本社会で、自立生活するため
には日本語学習が不可欠です。



10,000円あれば、
難民ひとりの**1ヶ月の回復プロ
グラムを支える**ことができます。
医療、カウンセリング、地域交
流を通して、迫害による心身の
傷を癒し、次のステップを共に
考えます。

ご支援をお願いいたします！

ゆうちょ銀行から

下記の払込取扱票をお使いください。

ウェブサイトから

銀行、クレジットカードでのご寄付が可能です。
こちらのQRコードから簡単にお手続きできます。



振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	002506	加入者名	NPO法人アルペなんみんセンター	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	ご依頼人	様	料金	印	備考	印
振替払込 料金加入 者負担	6										
<small>記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押してください。 切り取りならでもよいです。</small>											

↓こちらを切り取り取ってお使いください。

払込取扱票

通常払込料金 加入者負担	千 百 十 万 千 百 十 円	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	料金	備考
02	002506	107205	107205		
NPO法人アルペなんみんセンター <small>領収書発行が不要な方は、こちらにチェックを入れてください。→</small>					
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号: 60237号)			ご住所 (〒)		
お名前			2022		
電話番号			日 附 印		

※おなまえを記入してください。(承認番号: 60237号)
これより下部には何も記入しないでください。

この受領証は、大切に保管してください。